自主的環境保全活動の取り組み状況

（事業所名）㈱ダイセル 姫路製造所 広畑工場

1　環境保全活動に関する方針等

1－1　環境保全活動に関する方針

《広畑工場　品質・環境方針》

常に高いレベルの信頼を得るため、顧客が求める品質・環境を追求した製品を実現し、安定的に供給する。
これを実現するために、下記の内容で品質・環境方針を定める。

― 記 ―

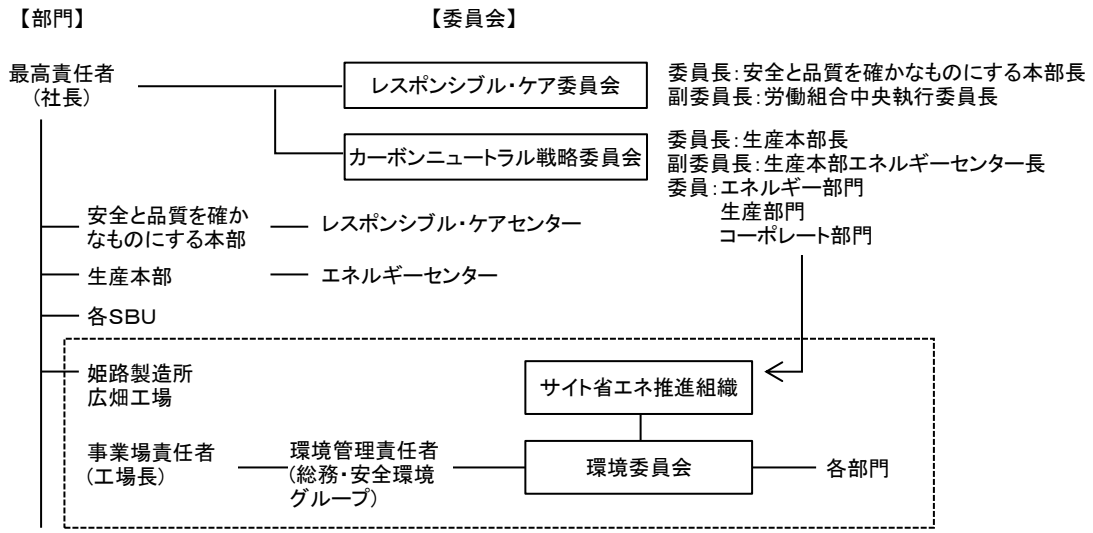
1．全てのプロセスを通して以下の目的を達成します。
- 安定的に顧客要求事項並びに適用される法的要求事項を満たす製品を顧客に提供します。
- 当工場の事業活動に係わる環境関連法規制、及び当工場が同意したその他の要求事項を順守します。

2．「経営方針」および「中期計画」に基づき、各部門別は部門「品質目標」および「環境目的、目標」を年度毎に定めて部門内で展開し、達成のため取り組みます。

3．品質・環境トラブルを防止するため、必要な教育訓練を品質・環境マネジメントシステムに落とし込み実施します。

4．各部門は、更なる顧客満足度の向上および環境保全のため、品質・環境マネジメントシステムおよびパフォーマンスの有効性を定期的に評価し、継続的に改善します。

1－2　環境保全活動に関する組織体制



2　環境保全活動の実施状況等

項　目	取組結果	今後の取組計画
省エネの推進 （エネルギー対策）	・2023 年度は生産量の減少により、エネルギー使用に係る原油換算量が対前年度比8%の削減となったが、5 年度間平均原単位変化では 3.0%の悪化となっている。 これは、エネルギー換算製造量が減少したことで、固定エネルギー量が占める割合が多くなったためである。	・省エネルギー取組アイテムを探索、実施することにより、過去 5 年度間のエネルギーの使用に係る原油換算原単位を年平均 1%以上改善する。
地球温暖化ガス排出量削減 （地球温暖化防止）	・生産量の減少によりエネルギー使用量が減少したため、温室効果ガス排出量が前年より 14%減少した。 ・フロン使用機器の適正管理を行った。	・省エネ推進と合わせてCO_2排出量削減を継続する。 ・継続して実施する。
大気汚染物質、水質汚濁物質排出量監視 （現状で十分低い値を維持できているため、現状維持の監視の継続）	・環境監視計器による監視体制を維持し、大気汚染物質、水質汚濁物質の排出量について適正に維持されている事を確認している。	・継続して実施する。
産業廃棄物削減	・産業廃棄物のＲＰＦ化推進等により、リサイクル率が 82.4%（対前年：0.4%上昇）に上昇した。 ・埋立処分率は、0.4%（対前年：0.1%減少）となった。	・更なるリサイクルを推進する。 ・埋立処分率が現状以下となるよう推進する。
化学物質適正管理	・化管法ＰＲＴＲ届出制度に基づく、対象物質の排出量および移動量について確認し、報告を行った。 ・労安法の改正（2024年4月1日）による「化学物質管理者」の選任義務化にあたり、専門講習を受講した者を選任した。	・継続して実施する。 ・化学物質の適正管理を継続する。
環境マネジメントシステム	・環境ＩＳＯの内部監査を実施し、発見された改善点については是正措置を行った。（11月） ・ＩＳＯ１４００１継続審査を受審した。（12月18～20日） また、改善の機会について対応を行った。	・継続して実施する。 ・継続して実施する。
環境コミニュケーション	・当社ホームページに、ダイセルグループの環境情報を掲載している。 ・冊子版「ダイセルレポート２０２３」を、来客者等に配布した。	・継続して実施する。 ・継続して実施する。